

## 別記様式（第5条関係）

## 会 議 録

会議の名称		第5回新設小学校開校準備委員会
開催日時		令和7年12月15日（月）午後7時00分から 午後8時00分まで
開催場所		福津市役所別館1階大ホール
委員名		出席委員 榎谷 将仁 佐々木 美奈 仲村 浩一 奥之藺 斉美 中野 隆 塚本 義孝 細田 浩司 安河内 友美 西田 剛信 梅野 邦彦 土器 修
所管課職員職氏名		教育部長 宮原 栄介 理事兼主幹指導主事 原尻 敏広 学校教育課長 石井 啓雅 新設小学校準備室長 志賀 孝俊 新設小学校準備室新設小学校準備係長 鈴木 健夫 新設小学校準備室新設小学校準備係長 有吉 弘貴
会   議	議 題 （内 容）	1. 委員長あいさつ 2. 協議事項 （1）校章・校歌について （2）通学路について 3. 次回開催日程について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	なし
	資料の名称	・会議次第 ・校章・校歌について ・通学路について
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
		<input type="checkbox"/> 要点記録
		記録内容の確認方法：委員長確認
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 委員長あいさつ  
(西田委員長が開会のあいさつを行った。)

2. (1) 校章・校歌について  
(事務局が説明を行った。)

【意見交換】

西田委員長 1 番のアイデア募集について、前回いただいた意見をもとに修正しているがよろしいか。

(異議なし)

では、次に進む。2 番の「校章の作成について」は、後ほど議論することとし、3 番の「校歌の作曲者について」に進む。校歌の作曲者について、各自確認できたか。

委員 ●●先生が作曲した曲を探したが、見つからなかった。

西田委員長 決めることは中々難しいが、多数決で決めてよいか。

(異議なし)

多数決の結果

●●氏：1 票、●●氏：9 票

多数決の結果、作曲者は●●氏に決定したいと思う。2 番の「校章の作成について」は後ほど議論することとし、先に「通学路について」を進めたいと思う。

2. (2) 通学路について  
(事務局が説明を行った。)

【質疑応答】

西田委員長 通学路の説明について質問事項等はないか。

委員 新設小学校を設立して 1 年目の間は問題ないが、2 年目以降は、西福間 5 区の生徒が津屋崎中学校に通うことになる。西福間 5 区から津屋崎中学校への通学路はどうなるのか。

事務局 新設小学校を卒業し津屋崎中学校に通うことになる前に、中学生の通学路をどうするかは教育委員会の内部で協議し安全措置を講じていきたいと考えている。

西田委員長 人道橋を通る人数が増えるということか。

委員 中学生も人道橋を通るとなると、人数が増えるのではないか。

西田委員長 どのくらいの人数が通るのか調査し、津屋崎中学校と一緒に考えていかなければいけない。

委員 人道橋について、拡幅するためには時間と費用がかかるが、時間と費用が 3 年ほどかかったとしても、中学生が通ることも踏まえ将来的に拡幅をしてほしい。令和 9 年度までは大丈夫であるが、今の段階から県と協議し少なくとも 2 倍に拡幅を行わなければいけないと思う。そのように検討していただけないか。

事務局 検討する。

委員 西福間は自転車通学が可能になるのか。

事務局 今後、検討していく。

西田委員長	何キロ以上であれば自転車通学というようなルールがあると思うので、確認が必要。
委員	警察や関係機関と協議していくという部分があったが進捗があれば教えてほしい。
事務局	現在協議中であり、報告できる段階になれば早めに報告したい。
委員	期間的に目途は立っているのか。
事務局	年度内であれば望ましいが、県警から公安委員会にあげ、公安委員会で決定が必要のため、秋くらいの工事になるのではないかと推測する。
委員	決定しなければ、通学路が決まらないのではないかと推測する。
事務局	早めに決定できるよう協議していく。
2. (1) 校章・校歌について (「校章の作成について」事務局が説明を行った。)	
【意見交換】	
西田委員長	事務局の説明について質問事項等はないか。
委員	●●氏に頼む場合は業務委託できないということか。
事務局	性質上、デザイン業を営まれている方ではないため、契約書を結ぶというよりは、依頼し作っていただいたものに対し謝金を支払うという形になると思う。
委員	デザイナーは議論を行いやすい一方、●●氏の場合はそれが発生しなくなるというダブルスタンダードは問題ないのか。
委員	●●氏に前向きにチャレンジするのであれば、委員会側の想いをのせて訴えに行き、良心を引き出し作り上げていく感じだと思う。行政に間に入ってもらおうというよりは、委員会から出た 1 つの案として●●氏にアプローチを行うという形なのではないかと思う。前回出ていた●●はどのような感じだったのか。
事務局	●●に確認したところ、契約は結んでおらず、謝金という形でお支払いをしている。委員会の中に、偶然、●●の知り合いの方がおり、その方を通じて依頼をした。金銭面など苦しい諸条件がある中で引き受けてくださったとのこと。
委員	業務委託について、●●氏に謝金を支払う際に委託契約のような覚書が必要なのではないか。
事務局	書面の取り交わしはある。
委員	書面の取り交わしがあるのであれば、言葉のあやであり、契約行為自体は同じではないか。
委員	●●氏は芸術家のような方のため、こちらからは指示ができない。作品の完成を待つだけということが業者の違いであると思う。
委員	指示のしやすさは違いがあると思う。しかし、謝金の支払いについて契約行為自体は変わらないのではないかと推測する。
委員	●●委員は●●氏と知り合いではないか。
委員	知り合いではない。
委員	10 年ほど前、●●で、間を取り持ったことがある。●●氏にお会いするにも、●●があるなど日程調整に苦労した。
委員	●●か。
委員	●●である。

委員	●●と思う。依頼した後は作品が完成することを待つだけであり、●●だと思う。●●がある。
委員	●●か。
委員	●●はわからない。
委員	難しい側面はあるが、チャレンジするか。チャレンジするのであれば誰が接触するか。
委員	先ほど、デザイナーであれば市が対応し、●●氏であれば委員会で対応するという話があったが、●●氏にも市が対応することでいいのではないか。
委員	保護者の想いで依頼するからこそ、●●氏に●●と思う。
委員	行政が業務で伺うと上手くいかないのではないかな。
委員	●●氏に時間を作っていただくことに1か月以上かかった。
委員	直接お会いすることは厳しいと思う。市が動く前に、委員がお伺いを立て、行くことができるようになってから市から正式にお願いするという形でよいのではないかな。
委員	保護者の想いで依頼に行くが、依頼するうえで必要な謝金や納品期限などの条件をあらかじめ事務局でまとめてもらえないかな。
事務局	必要条件等は事務局で取りまとめる。
委員	アポイントはどのようにとるのか。
委員	前は、●●氏が●●という形だったため、今回とは状況が異なる。そのため、こちらから依頼に行くためにどうすればよいかわからない。
西田委員長	話を整理する。●●氏にチャレンジするかどうか。
委員	●●氏は●●である。チャレンジしてみて、もしダメだった場合はデザイナーに依頼するという流れでいいのではないかな。
委員	どんなものが完成品としてあがってきたとしても、それに文句は言えない。
委員	もし何かあればダメ元で直接訪ねてもいいかもしれない。
委員	●●氏に依頼する案も良いとは思っていた。委員側からすれば、知名度があったり、箔がついたりするが、頼まれた●●氏からすると、●●氏のカラーを校章に入れるかということとは違うように思う。●●氏が作られた校章を見ても、あまりイメージがつかない気がする。
委員	●●の校章は、●●をモチーフにしたものになっているように思う。
委員	カラーが出るのであればよいと思う。しかし、知名度や箔がつくという理由だけで依頼するのはいかがかな。●●氏に依頼したい確固たる理由があればよいと思う。
委員	地元に建つ小学校ということで、地域とのつながりが理由となる。
委員	地元に小学校が建つのでから依頼しやすいと思う。
委員	依頼される●●氏はどうなのだろうか。
委員	依頼に行く人もプレッシャーがある。
委員	●●氏と近い方がいればよいが。
委員	とりあえず、何名かで依頼に行き、関係者に会い、●●氏に会ってよいと許可が取れば、市も出てきて、謝金や完成時期等を話せばよいのではないかな。
委員	ダメ元で行ってみるということではないかな。
西田委員長	●●氏にチャレンジするということがよいかな。ダメだった場合はデザイナーに依頼する。

委員	●●氏に依頼できた場合は、デザインのアイデア募集自体なくなるのか。
事務局	小学校区に住んでいる方の想いが詰まっているため、参考にしてもらうよう投げかけはする。
委員	最初の段階で、想いを汲んでくださいと伝えたいうえで受けてもらうしかない。
西田委員長	では、●●氏にチャレンジするということでしょうか。実際に誰が行くのか。
委員	手紙を出すのはどうか。
西田委員長	チャレンジの手順はどうするか。どのメンバーで行うか。
委員	保護者の方がいいと思う。
委員	保護者で個別に集まっても良いか。
事務局	行く日程や時間等がわかり次第、事務局に情報共有していただきたい。
西田委員長	保護者が個別に進める形でお願いしたい。

第6回委員会は、1月26日19時から開催予定。